



1 美術家と本(2)

ドローネとサンドラール あるいは「同時性の本」 図書館長 後藤 新治

2 ブックレビュー 新入生にイチ押しの1冊 「星の王子さま」 神学部 神学科 教授 片山 寛 「ハックルペリ・フィンの冒険」 文学部 英文学科 教授 酒井 三千穂 「寺田寅彦随筆集」 人間科学部 児童教育学科 教授 安楽 和夫 「日本人はなぜ無宗教なのか」 国際文化学部 国際文化学科 教授 今井 尚生 「プレカリアート」 商学部 経営学科 准教授 平木 真朗 「大学で何を学ぶか」 経済学部 経済学科 准教授 加藤 浩

# 3-4 世界の図書館 韓国編

国立中央図書館 経済学部 国際経済学科 准教授 李 善英高麗大学図書館 商学部 経営学科 准教授 鄭 義哲 蔚山大学図書館 国際文化学部 国際文化学科 講師 尹 芝惠 5 知らないと損をする! レポート・論文作成法

レポートの材料は図書館に! 大学院 文学研究科 英文学専攻 岩尾 薫情報は鮮度が命? 図書情報課 山下 大輔

使ってみようシリーズ(8)

国際機関資料室 図書情報課 長岡 武史

蔵書ギャラリー no.5

ポップアップ絵本 人間科学部 児童教育学科 教授 黒木 重雄

SEINAN

# 美術家 と本 2

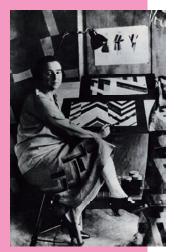


写真1:絵画制作のかたわら1920年代から前衛的なファッションデザイナーとして活躍したソニア・ドローネ。パリのアトリエで、1923年。[参考文献2]



写真2: 片時もタバコを離すことはなかったコスモポリタン詩人ブレーズ・サンドラール、1921年。彼は第一次世界大戦で負傷し右腕をなくした。[参考文献2]

<参考文献>

1)Blaise Cendrars, Du monde entier au cœur du monde; Anthologie nègre (Œuvres complètes I), Denoël, 1963. [閉架 958/C2/1-7]

2)Arthur A.Cohen, Sonia Delaunay, Abrams, 1975. [閉架 723/35D55/22]

3)Exp. Cat., Sonia et Robert Delaunay, Bibliothèq Nationale, Paris, 1977. [閉架 723/35D55/1]

Nationals, Eds., 1993. 1993. 1993. 1994. 4) Antoine Sidoti, Genèse et dossier d'une polémique : La prose du Transsibérien et de la petite Jehanne de France : Blaise Cendrars, Sonia Delaunay, novembre-décembre 1912-juin 1914, Lettres Modernes, 1987. [開架 951/C16/1]

# ドローネとサンドラール あるいは「同時性の本」

図書館長 後藤 新治

2回目は、ウクライナ出身でパリで活躍した画家・デザイナーのソニア・ドローネ(1885-1979)[写真1]と、スイスに生まれ世界中を旅して回った詩人・小説家ブレーズ・サンドラール(1887-1961)[写真2]の出会いによって生まれた本を紹介します。『シベリア横断鉄道とフランスの少女ジャンヌの散文詩』La Prose du Transsibérien et de la Petite Jehanne de France と題され、二人によって「最初の同時性の本」premier livre simultané と宣伝されたこの本[写真3]は、第一次世界大戦が始まる直前の1913年に150部の限定で出版されました。左側にドローネの絵が、右側にサンドラールの詩が、画家と詩人の緊密な協働作業によって、対等の関係で印刷され、22頁の蛇腹式の折本になっているのですが、ひろげると長さが2mにもおよぶ縦長の作品です。150部すべてをつなぐとエッフェル塔の高さ300mになるというのも彼女等らしい選択です。

ドローネの躍動する情念的な色彩のリズムに呼応するかのように、サンドラールのテキストも内容に応じて文字の大きさや色が変えられ、余白の部分まで彩色されています。文字印刷を除く技法はポショワール(pochoir)と呼ばれる一種の型紙版画で、手彩色に近いので作品ごとに多少の色むらなどがあります。ちょっと見にくいのですが、左上に本のタイトルと奥付、その右にはモスクワから東清鉄道経由でウラジヴォストークへといたる、開通したばかりのシベリア横断鉄道の路線図が印刷されているのがわかります。

幼い頃より各地を転々とし、1904年にはロシアのサンク ト・ペテルブルクに滞在していたサンドラールは、折しも始 まった日露戦争によって、シベリア横断鉄道が前線に向か う兵士や負傷兵などでごった返す様を目撃し、また1905年 のロシア革命の現場にも立ち会いました。その後コスモポリ タン詩人はニューヨーク経由でパリに到着しますが、フラン スの詩人アポリネールの紹介で、当時幾何学的な形態を虹 色で描いていたソニアおよび夫のロベール・ドローネとも知 り合います。16歳になったばかりの男がモンマルトルの幼 い娼婦ジャンヌを連れて、モスクワから極東に向けシベリ ア横断鉄道の旅に出かけるという設定で書かれたこの詩を 見せられ、ソニアは一目で気に入り、さっそくサンドラールに コラボレーションによる出版を提案しました。夢うつつの車 窓の景色にも似て、戦争と革命によって混乱した記憶の中 の時間と空間が、補色の対比を効果的に用いた彩色法に よって見事に視覚化されています。

ところで二十世紀初頭の交通やメディアにおける速度革命によってもたらされた新しい時間意識である「同時性」、アヴァンギャルドたちが先行取得を争った「切り札」とも言うべき流行語、その「最初の本」であることを宣言した本書は、この後ちょっとした論争をまき起こすのですが、今回はそのことに触れる余裕がありません。ただ「同時性」によって、世界時間が定められ、それを用いた宣戦布告によって世界戦争の準備が整ったことだけは付け加えておきたいと思います。

(国際文化学部 国際文化学科 教授)



写真3:プレーズ・サンドラール 詩/ソニア・ドローネ 絵「シベリア横断鉄道とフランスの少女ジャンスの散文 詩』、1913年、ボショワール・印刷 紙、200.0 × 35.5 cm, Edition des Hommes Nouveaux, Collectum Mr. and Mrs. A. Cohen. New York、「参考文献2]



# 新入生にイチ押しの1冊



#### 『星の王子さま』

サン・テグジュベリ著 (河野万里子訳) 新潮文庫 2006年 (開架2階 095/953/2)

#### 神学部 神学科 教授 片山 寬

この本を初めて読んだのは、高校1年生の夏でした。書店の店頭で読みはじめたのですが、物語に引きこまれて、2時間ほどかけてぜんぶ読んでしまいました。おわりの王子さまとのお別れの場面では涙がぼろぼる出て、道ゆく人々にきまりが悪かったのを覚えています。魂にひびく本でした。2005年に原作の日本での著作権が切れ、それに伴い翻訳出版権(岩波書店)が消滅したため、その後各社から一斉に新訳が出ました。その数は20点を越えます。このたび入手しやすい文庫本を5点読み比べたのですが、その中でいちばん良かったのが、上記の新潮文庫版です。個人的には最初の内藤濯(あろう)訳が今でもいちばん好きですが、どの翻訳でもかまいません、はじめての方もすでに読んだ方も、この機会に読んでみてください。若い時代にぜひ読むべき本です。



小宮豊隆編 岩波文庫 1947-1948年 (閉架 091/914/1-1~1-5)

人間科学部 児童教育学科 教授 安楽 和夫

寺田寅彦の随筆集を挙げてみました。寺田寅彦は、明治、大正、昭和という時代を生きた物理学者ですが、夏目漱石に師事した優れた随筆家、俳人でもあります。彼の随筆集を読み進んでいくと、この人の幅広い教養と深い洞察力、またその旺盛な好奇心と探求心に驚かされます。70年以上も前の書き物ですから、内容が古くさく陳腐化したもののような先入観を持ちそうですが、やがて忘れ去られてしまいそうな「話題の新刊」とは違って、いつまでも色あせない類の作品でしょう。個人的には、「相対性原理側面観」、「化け物の進化」(いずれも第二巻)などはとりわけ秀逸な作品と思っています。なお第三巻の「読書の今昔」では読書について言及してありますが、受け売りになってしまいますので、詳しくは作品をご覧下さい。

## 『プレカリアート デジタル日雇い世代の不安な生き方』

雨宮処凛著 洋泉社 2007年 (開架3階 366/8/152)

#### 商学部 経営学科 准教授 平木 真朗

国とか天国地獄とかのない世界を想像しなさい、という歌が昔あった。お金のない世界は想像するまでもなくリアルである。職がない、住まいがない、寄る辺がない、展望がない…。あるのは公衆電話、日雇い派遣、牛丼、リクライニングシート、100円ドリンク、プラスチックの椅子、屋外、アルミ缶…。年をとり体を壊せばそのような生活ともおさらばできるのだろう。われわれには今のところ関係のない世界である。社会構造と政策課題を説く筆者に元祖"行動する作家"は問う——君に何の関係があるの?実存の次元の問いかけに対して社会科学の言葉をいくら返しても答えにはならない。だが、とにかく事物にぶつかり考えようとする。その限りにおいて彼女は作家である。



#### 『ハックルベリ・フィンの冒険』

マーク・トウェイン著(大久保博訳) 角川文庫 1999年 (開架4階 933/Tw/8)

#### 文学部 英文学科 教授 酒井 三千穂

アメリカに関心がある人に、『ハックルベリ・フィンの冒険』をお勧めする。少年ハックによる、ミシシッピ川を筏で下る旅そのものが、人々との出会いや事件に満ちていて、面白い。しかし、小説の背景は、アメリカに奴隷制度があった19世紀。逃亡奴隷のジムと旅するハックは、ある問題に直面する。人の「財産」で、家畜と変わらぬはずのジムが、生活を共にする内、次第に「人間」としか思えなくなったのだ。「よし、それなら、オレは地獄に行こう。」―彼がこう決心するのは、ジムの居場所を持ち主に知らせる手紙を破り捨てた後のことだ。この決心と旅がどのような結末を迎えるのか、子供ばかりでなく、大人も楽しめて、考えさせられる作品になっている。



ちくま新書 1996年 (指定図書 開架2階 162/1/20)

国際文化学部 国際文化学科 教授 今井 尚生

もし「あなたの宗教は?」と尋ねられたら、恐らく皆さんの多くは「私は無宗教です」と答えるでしょう。では日本人はなぜ自分を無宗教であると考えているのでしょうか。大学で学ぶことの大切さは、単に自分の考えを確立することではなくて、自分の考え方それ自体を学問的に吟味することが出来るようになることにあります。そして「なぜ自分がそのように考えるようになったのか」を問うということは、自分を育んでくれた文化や歴史を意識しつつ自分を見つめ直すということなのです。この本を読むと、日本人がなぜ自分を無宗教であると考えるようになったのか、また日本人が無宗教ということで何を意味しているのか、ということに改めて気づかされます。皆さんもこの本を読んで、自分で意識していなかった自分、自分の考え方のルーツを辿る旅に出てみませんか。



## 『大学で何を学ぶか 自分を発見するキャンパス・ライフ』

加藤諦三著 光文社 1979年 (開架3階 377/0/95A)

経済学部 経済学科 准教授 加藤 浩

これから4年間、大学生活をどのように送ればよいのかと思い悩んでいる人にお薦めしたい一冊。教授との接し方、講義の聴き方、本の読み方、日常生活のあり方、キャンパスでの過ごし方、そして進路に対する考え方と多岐に渡り、具体的なアドバイスが記されている。つねに周りの目を気にしながら要領よく過ごしていく大学生活が、いかに窮屈で虚しいものであるか、本書は私たちに諭してくれる。残念ながら絶版となってしまったが、いま読んでも内容は決して古くはない。大学生活で壁にぶつかったら、まずは図書館に赴き、この本に相談してみると良い。前進するためのヒントを掴むことができるかもしれない。





# 世界の図書編





[国立中央図書館本館]



[高麗大学図書館旧館]



[蔚山大学図書館本館]

# 国立中央図書館

The National Library of Korea:Banpo-Ro 664, Seocho-Gu, Seoul, 137-702 Korea 韓国語URL:http://www.nl.go.kr/ 日本語URL:http://www.nl.go.kr/nlmulti/index.php?lang\_mode=j/

## 経済学部 国際経済学科 准教授 李 善英

古井 国の国立中央図書館はソウルの正南、漢江の南側にあたる所 中 にあります。すぐ近くに最高裁判所、最高検察庁などがあり、司 法行政の中心地と言われている場所です。以前はソウルの観光名 所、南山にありましたが、ソウル・オリンピックが開催された1988年

に、現在の場所に新築移転されました。 1945年に朝鮮総督府図書館の蔵書を引き継ぎ、「国立図書館」として開館しましたが、 1963年「国立中央図書館」に改称されました。名前からわかるように、同図書館は文化体育観光省所属の国立図書館で、「国会図書館」と共に韓国の納本図書館として指定されています。ちなみに、2008年1月31日現在の所蔵資料、660万余点のうち約70%は納本によって収集されたものです。

同図書館は本館と別館からなっており、 一般利用者が利用するのは本館の資料室

で、別館は司書研修館と資料保存館です。本館は地下1階、地上7階 のいかにも西洋風の建物ですが、今は国立デジタル図書館の新築工 事で本館の前が塞がれており、正面から見渡すことはできません。今 年完工予定のデジタル図書館が開館すれば、図書館の風景もデジタ ル資料の利用面においても今までとは違ったものになると思います。 現在5階にあるデジタル資料室はオンライン上の様々なデジタル情報とマルチメディア資料を自由に利用できますが、このすべての機能がさらに拡大されるそうです。

所蔵する資料は国内外の図書、新聞雑誌、古籍、人文科学、社会科学、

自然科学等々、全分野を網羅しており、基本的にはすべてが閲覧可能です。同図書館の有している貴重な指定文化財、利用方法などの詳細については日本語版のURLがありますので、興味がある方はアクセスして見て下さい。

今年の1月、帰省した際に久々に訪れて感じたことはオンラインシステムが完備されたことはさるごとながら、利用者へのサービス提供の充実でした。例えば、平日23時までの館内貸出利用サービス、インターネット・ファックスなどで申し込める資料の複写・郵送サービス、土・日曜日でも閲覧できる閲覧予約制など



[本館6階の古典運営室]

のサービスです。また、展示会、映画上映会、作家の講演会なども開催 されており、総合文化空間としての役割を果たしているようです。図書館 の周りは公園が取り囲んでおり、閲覧室から景観を眺めると安らぎます。

写真は私が個人的に好きな閲覧室です。ここでは、族譜 (一族の系図) が閲覧可能で自分のルーツを確認することができます。

(出典: [写真上] NAVER百科事典/[文中写真] 著者撮影)

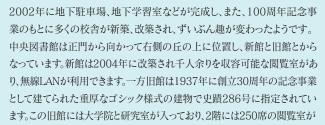
# 商学部 経営学科 准教授 鄭 義哲

ウル市の北東部に位置する高麗大学は2005年に創立100年を 迎えた歴史ある私立大学です。もともとは1905年、私立普成(ポソ ン)専門学校として創立され、1932年に高麗大学に改称、1946年に政 法、経商、文科の3学部の総合大学として創設されました。その後理工系 学部、医学部を新設し、現在は18学部と18の大学院、96の研究所があ り、そこで約3万5千人(うち学部生が2万5千人)が学んでいます。

キャンパスはソウル市城北区にある安岩(アナン)キャンパスとソウル市 から140km南にある瑞倉(ソチャン)キャンパスからなっています。安岩

キャンパスはソウルの地下鉄6号線の高麗大 (コリョデ)駅から隣の安岩駅に至る広大な敷地 を有し、学内をシャトルバスが運行しています。

高麗大駅を降りて大通り沿いに5分ほど歩くと 正門に出ます。筆者が通っていた当時は正門正 面にグラウンドがあり、グラウンドを囲むように 左右に登り道があって、そこを上がった丘に ヨーロッパ風の建造物が並んでいました。キャ ンパスは木々に囲まれ四季折々の美しさを見せ ており、10年ほど前までは時折リスの姿を見るこ ともありました。現在は、そのグラウンドを掘って

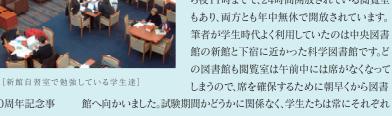


あって、天井の高い荘重な空間はその歴史を感じさせます。図書館はこの他 に科学図書館、医学図書館、瑞倉学術情報院があり、2005年5月にできた 学術情報館は韓国最大のデジタル図書館です。さらに法学図書館が2007 年3月に完成。その他に生活図書館があり、一般に公開されているそうです。

蔵書は単行本が165万5千冊余り、定期刊行物が約2万1千種類、46万 2千6百冊、学位論文やその他の資料を含めると246万冊以上の資料を有 しており、これは韓国の私立大学中最多の所蔵数です。デジタルコンテン ツの収集にも力を入れており、電子ジャーナル、eBookなど、13万7千種以

> 上の資料を所蔵しています(いずれも2007年8 月末現在)。古書、貴重書、古地図といった様々 な資料に加え、学位論文や講義のデジタル化も 積極的に進めているとのことです。

図書館の閲覧時間は一般閲覧室が朝6時か ら夜11時までで、24時間開放されている閲覧室 もあり、両方とも年中無休で開放されています。 筆者が学生時代よく利用していたのは中央図書 館の新館と下宿に近かった科学図書館です。ど の図書館も閲覧室は午前中には席がなくなって



目的意識を持ち、机に向かっていたように思います。日本人留学生は一様に 学生たちの勉強量に驚いていました。各図書館には軽食を取ることのできる コーナーもあり、ここで友人たちと息抜きしたり、空腹を満たしたりして、また 机に向かいました。静かな中にもいつも学生たちの活気がみなぎっていた 図書館は、筆者にとって学生生活の大切な思い出の一部分です。

(写真提供·高麗大学校)

# 蔚山大学図書館

Ulsan University Library: 680-749 San 29, Muger 2-dong, Ulsan Korea

## 国際文化学部 国際文化学科 講師 尹 芝惠

士 山(ウルサン)大学は人口110万人の蔚山広域市(日本の政令 | 出てがアンバスチはストロートでは | 指定都市に当たる)にある唯一の総合大学で、私が1991年から 4年間在籍した大学である。蔚山は釜山から海沿いに東北へバスで1 時間の場所にある。現代(HYUNDAI)グループのお膝元であり、韓国

最大の重化学工業都市である。蔚山大学も現 代グループの創設者によって設立された。蔚山 と日本との歴史的な関係を見ると、室町時代に 日朝貿易で栄えた港町の塩浦が現在の蔚山 であり、また秀吉の朝鮮侵略に際しては加藤清 正が籠城戦を展開した(鍋島報效会所蔵の 『朝鮮軍陣図屛風』(注1)はその模様を描い たもので、倭城の跡は今も蔚山に残っている)。

蔚山大学は1970年に蔚山工科大学として 開校し、1985年に総合大学となった。 現在は 理工系・文科系・芸術系の12学部、7研究科が あり、約14,000人の学生が学んでいる。中央

図書館は開学と同時に開館し、1991年に現在の場所に移築された。ま た2005年には新館が増設された。5階建ての本館は科学芸術資料館 で、7階建ての新館は人文資料館である。韓国の学術出版はeBookや E-Journalといった電子形態の資料が多いため、それらを検索したりプ リントアウトしたりするためのパソコンが多数配備されてもいる。また手

続きをすれば一般市民も利用可能である。近年は日本関係の図書収集 に力を入れている。日本語日本学科の教員の尽力により、これまでに日 本の研究者からあわせて9,000冊の図書を譲り受け、研究に役立てて いる(蔵書の始末にお困りの方は是非ともご一報いただきたい)。各館1

階の自由閲覧室は韓国の大学に独特のもの ではないかと思う。図書館の開館時間は午前9 時から午後10時40分までであるが、前述の通 り図書が配置されるのは2階から上であり、そ のためゲートも2階にある。1階の自由閲覧室 はいわゆる自習室で、朝5時から夜12時まで 自由に出入りし、勉強することができる。私の学 生時代には12時を過ぎても退室せず図書館 で寝る猛者もいた。普段はさほどでもないが、 試験期間中は席を確保するために朝4時半か ら並ぶ。全ての学生が勉強熱心なわけではな く、私の場合は友達と共に"大学生"という雰



[新館閲覧室でeBook等を検索する学生達]

囲気を味わうための一種のイベントのようなものだった。大学の図書館 というのは資料を収集する場としてはもちろん、学生同士の交流の場と しても大きな意味をもつ。資料だけでなく、自分なりの図書館利用法を 探求するのも一興である。  ${}^{1:4}$ 辛基秀、仲尾宏責任編集「体系朝鮮通信使:善隣と友好の記録」 第1巻、明石書店、1996年 (閉架  ${}^{210/5/277-1}$ ) に掲載

(写真提供·蔚山大学中央図書館)

# レポート・論文作成法

大学院 文学研究科 英文学専攻

# 岩尾 薫

# 図書情報課 山下 大輔

# レポートの材料は図書館に!

英文学のレポートを作る場合、皆さんはどうやって作りますか?テキストをじっくり読むことも大切です。しかし自分の感想だけでまとめたものでは説得力がありません。

こんなとき、レポートの材料となるのが図書資料(論文・参考文献)です。適切な図書資料を見つけることが 大切です。

まず、図書館の中から自分の必要とする資料を探すにはOPACを利用します。図書館内の配架場所がわかりますし、作家や作品などキーワードを増やし、絞り込んでいけば、容易に探すことができます。

作家の作品についての論文などを検索する際には、データベースに頼ることもひとつの手段です。国内の論文を探す場合、サイニィ(CiNii)で検索をし、学内の図書館にない場合、Webcatを使えば、それらを掲載する図書・雑誌などを所蔵する全国の大学図書館等を検索できます。英語の論文を探すならば、Literature Online やMLA International Bibliographyからオンライン上で情報を得ることができます。

また資料検索など、どうしてもうまくいかないときは、レファレンス・サービスを利用すると便利です。

レポートの材料となるものは図書館にあります。まずは 図書館を有効に利用して、良いレポートを作成しましょう。

# 情報は鮮度が命?

みなさんは、レポートの作成等により図書館を訪れた際に、どうやって情報を探していますか?

食べ物ではありませんが、情報にも鮮度があります。しかし、「新しいものがよい情報」というわけでもありません。今日の朝刊のニュースは最も現状を反映したものでしょう。けれども、学術的価値は未知数ですし、もしかしたらまったくのデマかもしれません。事典等の参考図書に掲載されている情報は、鮮度は落ちますが、その学問の中では共通認識となっているしっかりとした情報があります。情報収集の際には、それらを幅広く、偏ることなく集めてください。そのためには、図書館に来て本を調査するだけでは不十分ですし、インターネットで検索してみるだけでも、もちろん不十分です。下記程度の調査を心がけるとかなり網羅的な情報が集まるでしょう。

- 1、事典・辞書等の参考図書で調査する。
- (辞書データベース「JapanKnowledge」も便利です。)
- 2、Magazine Plus、CiNii等のデータベースを用いて、雑誌記事を調査する。
- 3、OPACを用いて関連書籍を探し、図書を調査する。
- 4、新聞、データベース等を用いてニュースを調査する。
- 5、インターネットを用いて、関連する情報がないか調査する。

ここまで調査してみると、現在までの推移が分かりレポートの的確なテーマ設定ができます。調べ方が分からない、調べたけど出てこない、他に情報はないのか、そんな時には遠慮なく図書館職員に声をかけてください。

いずれの段階においても、思いつく限りの様々なキーワードで調査してみることが大切です!

#### 大学生への「おすすめツール」

# 図書館ホームページ → 学術ポータル → パスファインダー (英米文学)



パスファインダーはレポート作成の資料検索にお勧めです。作家や作品に関しての資料の検索方法がまとめてあり、資料検索の足がかりになります。

# 大学生への「おすすめツール」

図書館ホームページ  $\rightarrow$  学術ポータル  $\rightarrow$  データベース  $(オンライン, CD/DVD-ROM) <math>\rightarrow$  Japan Knowledge



百科事典・各種辞典・ニュース・学術サイトURL集などを中心に総項目数約186万件を一括検索できる総合データベースです。

# 国際機関資料室







図書館2階の奥に国際機関資料室があります。この資料室は国連寄託図書館、EU情報センター、OECD協力資料館、国際協力プラザの4つで構成されています。国連寄託図書館は全国で14箇所、EU情報センターは全国で19箇所にしかありませんので非常に珍しい専門的な資料室といえます。資料は専門的なものだけでなく、国際機関や国際協力についてわかりやすく記された資料もそろえていますので、気軽に利用できるようになっています。資料の探し方や利用方法がわからない場合も、専門のスタッフがわかりやすく対応いたしますので、国際機関や国際協力などに興味がある方はぜひ一度覗いてみてください。



国連寄託 図書館

国連が刊行する資料を寄託して公開しています。資料には図書や雑誌のほかにも、国連総会や安全保障理事会や国連が開催する世界会議などの会議資料や議事録などがあります。



EU情報 センター 欧州委員会により、欧州統合関係文献の情報センターとして援助されたもので、世界各地の約400の大学に設けられています。大学のEU研究のサポートだけではなく、周辺地域全体にEUの理解度を深めるための広報センターとしての役割もあります。



OECD協力資料館

OECDが刊行する出版物を受け入れて公開しています。出版物はオンライン版 (SourceOECD) も利用ができるようになっていますので、オンライン版を利用する場合は図書館ホームページ からアクセスしてください。



国際協力プラザコーナー

国際協力推進協会によって設置され、ODA、NGO、他の国際機関の国際協力に関する情報を広く一般に提供しています。

EU情報センターでは毎年5月に日・EUフレンドシップウィークの一環としてイベントを開催しています。 今年は「ヨーロッパから見た日本:今と昔」をテーマとして5月12日(月)~23(金)まで図書館で開催します。 EUグッズがもらえるクイズラリーも予定していますので、是非ご参加ください。



#### 日・EUフレンドシップウィークとは

文化、学術、スポーツなどのさまざまな催しを通して、日本とEUの「人と人」の交流の促進を図ることを目的とし、 毎年5月9日の「ヨーロッパ・デー」を中心に開催されています。

# 『ポップアップ絵本』



写真1:左から、Dinosaurs: Encyclopedia Prehistorica (注3)/ Mega-Beasts: Encyclopedia Prehistorica (注4)/ Alice's Adventures in Wonderland: a Pop-up Adaptation of Lewis Carroll's Original Tale (注1)/ The Wonderful Wizard of Oz (注2)



写真2:Dinosaurs: Encyclopedia Prehistorica (注3)



写真3:The Wonderful Wizard of Oz(注2)

年、ゼミ生と一緒に『飛び出す絵本展』を見に行った。 たいして期待していなかった。というより、何も知らな かったと言ったほうが正しい。ガラスケースの中の古ぼけ た飛び出す絵本を一点一点「へぇー」と感心しながら見進 んだ。そして、展覧会の最後は、実際に飛び出す絵本を触っ てみるコーナーだった。不自然な厚みの本が並んでいた。 中でもひときわ分厚い一冊を手にとってみた。「何が飛び出 してくるのかな?」まさしく恐る恐る開いてみると、本の見開 き一杯に中世の教会が建ち上がった。思わず、息を呑ん だ。本を開くという単純な動きが、精緻な紙細工の先々にま で伝わっていく様は、まるで毛細血管に血が通うかのようだ った。驚いた。で、それからはコーナーに置いてある本を手 当たり次第に開きまくった。大空を飛んだり、森の中を彷徨 ったり、恐竜に襲われたりと、ひとしきり楽しんだ。そんなな か、ある1ページに惹かれた。『不思議の国のアリス』のトラ ンプのページだ。そのページには明らかに他とは違う魅力 があった。それは、建物や動物や樹木といった立ち上がる ことが予測されるものではないものが立ち上がるという意 外性だ。左ページから右ページへと無数のトランプがアー チ状に乱れ飛ぶアイデアは、柔らかくしなやかな頭脳が産 み出した"上質の閃き"だ。作者の名はロバート・サブダ。不 勉強で知らなかったが、この世界の第一人者らしい。早速、

彼の代表作4冊を図書館に入れてもらった。(写真1) 既述の『Alice's Adventures in Wonderland』(注1)と『The Wonderful Wizard of Oz』(写真3,注2)『Dinosaurs』(注3)『Mega-Beasts』(注4)(※) だ。いずれも完成度が高い。ちなみにトランプの次にお気に入りなのは『Dinosaurs』の中の翼竜だ。ページを開く動作に合わせて翼を広げながら斜め上方に迫り出して、体の半分を本の外に投げ出す構造は、飛び出す絵本と言うよりも飛び発つ絵本と呼ぶにふさわしい。(写真2)

さて、この4冊、しばらく手元に置かせてもらっていたが、 手遅れになる前にそろそろ図書館に返そうと思う。実は、どうなっているのか知りたくて、上から見たり、下から見たり、 ぐるぐる回して見てみたり、さらには隙間をこじ開けて覗い てみたり、それでも解らないと「えーい、分解しちゃえ」などと 思ったりしてしまうのだ。

- (※)『Dinosaurs』『Mega-Beasts』はMatthew Reinhartと共作
- 注1:Robert Sabuda, Alice's adventures in Wonderland: a pop-up adaptation of Lewis Carroll's original tale, Little Simon, 2003 (閉架 726/5/32)
- 注2:L.Frank Baum ; art by Robert Sabuda, The wonderful wizard of Oz, Little Simon, 2000 (閉架 726/5/31)
- 注3:Robert Sabuda and Matthew Reinhart, Dinosaurs :encyclopedia prehistorica, Walker Books, 2005 (閉架 726/5/33)
- 注4:Robert Sabuda and Matthew Reinhart, Mega-beasts: encyclopedia prehistorica, Walker Books, 2007 (閉架 726/5/34)

本紙で紹介した作品の画像の使用については、著作権者の許諾を得ています。

# お詫びと訂正

No.163に下記の誤りがありました。お詫びとともに訂正いたします。

- 目次 / (誤) 蔵書ギャラリー no.3 → (正) 蔵書ギャラリー no.4
- p.4 3段落下から9行目 / (誤) 柴昌俊氏→(正) 小柴昌俊氏

# 編集後記

読書の効用のひとつに「考え方を学ぶことができる」が挙げられます。疑問、迷い、悩みなど、友達や家族、先生に相談する以外に、本の中にいる先人の意見を聴くことがあなたにはできるのです。西南学院大学図書館では100万以上の先人があなたと出会えることを待っています。 (F.S)

#### 西南学院大学図書館報 No.164

2008 (平成20) 年4月24日発行

編集 図書館報編集委員会

発行 西南学院大学図書館

〒814-8511

福岡市早良区西新6丁目2番92号 TEL(092)823-3426

http://www.seinan-gu.ac.jp/library/

